

住民と博物館の連携によるフィールドミュージアムの展開

現地ワーキング・県立関宿城博物館とその周辺

主旨：地域の文化、歴史、自然などの貴重な資源を発見・認識し、守り育むために地域住民と博物館が協力して行えるフィールドミュージアム活動について、現地を見て歩きながら意見交換を行います。（関宿城博物館は、野田市の最北端に利根川と江戸川に分岐点があります。その分岐点近くに復元された関宿城は、3層4階の天守閣が博物館となっています。「河川とそれにかかわる産業」をテーマに河川改修や水運、流域の生活や産業など河川の歴史が紹介されています。）



日時：2009年 **5月16日** (土) 13:00 ~ 16:30

関宿城博物館正門に集合 (住所：野田市関宿三軒家1434・TEL:04-7196-1400)

<http://www.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/index2.html>

場所：千葉県立関宿城博物館とその周辺

お問い合わせ先：千葉県立中央博物館 (TEL: 043-265-3111)

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

プログラム

参加予定人数：30~50名
(申し込み不要)

解説1：関宿城周辺と河川について

(千葉県立関宿城博物館学芸課長)・・・太田文雄氏

解説2：フィールドミュージアムについて

(千葉県立中央博物館館長)・・・佐久間 豊氏

タウンミーティング

フィールドミュージアム活動についての意見交換

周辺を歩きながらの気づきと意見交換 (16時30分 解散予定)

交通の案内

東武野田線・川間駅下車or 車の乗り合いが便利でしょう。

川間駅▶バス (関宿浜や工業団地・境町 (関宿城博物館経由) 11:09のみです。30分乗車・バス代510円

東武伊勢崎線or日光行き▶東武動物公園行き下車バス30分間隔境町行き、関宿城近くまで行きます。

駐車場 ▶ バス2台・乗用車10台 無料です。

今後の予定 ●第5回現地ワーキング・6月20日(土)：勝浦・理想郷周辺を

主催：NPO法人千葉まちづくりサポートセンター／千葉県フィールドミュージアム事業推進委員会

千葉県立中央博物館

協力：千葉県立関宿博物館

この事業は「花王・コミュニティミュージアム・プログラム2008」の助成金を受けました。

古絵図に描かれた下総関宿城と城下町の歴史探訪 明治初期の城破却令によって殆どの建造物は破壊され、現存する遺構は数える程度です。城郭、縄張り(土塁と水堀)も明治以降の江戸川の拡幅工事、堤防の拡幅や嵩上げ工事によって本丸、二の丸、天神曲輪、武家屋敷の西側の大半は江戸川の河川敷、堤防の下に埋もれ、更に農地の区画整理事業も重なり、かつての土塁や掘り割りは痕跡をとどめていない。城下町が描かれている古絵図(総州関宿城図、諸国当城之図下総国関宿、世貴宿城之図)には11ヶ所の寺が描かれていましたが、2ヶ所の寺(清信寺、不動院は廃寺となる)以外は現存し、かつての面影を残しています。歴史に彩られた関宿城下町を古絵図を参考にして訪ねる。

●博物館から徒歩約20分で行ける名所・旧跡を紹介しています。(ぶらりコース)

千葉県立 関宿城博物館

ホームページから抜粋して紹介します。



- ①関宿城博物館 ②日本庭園 ③売店 ④駐車場 ⑤にこにこ水辺公園
 ⑥中之島公園 ⑦こぶしの木 利根川治水の碑 ⑨宿水閘門 ⑩関宿城本丸跡 ⑪鍵の手十字路
 ⑫外堀・土塁跡 ⑬関宿関所碑 ⑭随庵堀・随庵碑 ⑮昌福寺 ⑯鈴木貫太郎記念館 ⑰延命子育て地蔵 ⑱光岳寺 水塚 ⑳首塚(刑場跡)

21・鬼門除け稲荷

22・道の駅さかい

23・境河岸



関宿城の鬼門の方角(北東)にあたり、寛文9年(1669)に建立されたものと言われています。明治の廃城の頃に関宿城天守閣脇にあった稲荷を移築したものと思われる。



関宿城博物館を臨む道の駅さかい建物の外観は河岸の町をイメージした蔵造り風になっています。



高瀬船「さかい丸」が運航しています。水運の歴史に思いを馳せながら、川の風情を楽しんでみては・・・
 料金：大人200円(子ども100円)